

# 温室効果ガス排出量 検証報告書

2024年9月25日

株式会社サンゲツ 御中

一般社団法人日本能率協会  
地球温暖化対策センター  
上級経営管理者 丸尾 智雅



## 1. 検証の対象及び目的

株式会社サンゲツ（以下「事業者」という。）が作成した算定対象<sup>※1</sup>における温室効果ガス（GHG）排出量情報（エネルギー消費量情報を含む）（以下「算定情報」という。）算定結果「2023年度算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の以下のGHG排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

### 1) スコープ1 GHG 排出量

算定対象における都市ガス、LPG、灯油、ガソリン、軽油の使用に伴って直接的に排出されるCO<sub>2</sub>排出量

### 2) スコープ2 GHG 排出量

算定対象における電力、熱の使用に伴って間接的に排出されるCO<sub>2</sub>排出量

### 3) エネルギー消費量

スコープ1、スコープ2におけるエネルギー消費量<sup>※2</sup>

検証の目的は、事業者の算定情報が算定方法<sup>※3</sup>に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し算定情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された算定情報に対する結論を表明することにある。

## 2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の算定情報を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- 算定情報の正確性を確認するためのサンプリングによる根拠となる資料の確認

### 3. 検証の結論

算定報告書に記載された2023年度の算定情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

検証された温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> e)	
スコープ1	1,172
スコープ2 <sup>※4</sup>	4,418

検証されたエネルギー消費量 (GJ)	
スコープ1、2におけるエネルギー消費量 <sup>※2</sup>	121,626

#### NOTE:

※1：算定対象は以下、計77拠点

本社（1拠点）、支社（9拠点）、支店/営業所（23拠点）、事務所（27拠点）、ロジスティクスセンター（9拠点）、サテライトセンター（1拠点）、ショールーム（7拠点）

※2：エネルギー消費量として以下を含む

スコープ1の燃料、スコープ2の購入電力（再生可能エネルギー、再生可能エネルギー以外）、熱、及び、再生可能エネルギーの自家発電量、自己託送電力量

※3：スコープ1,2の算定方法

「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.6)」、及び、事業者が作成した「算定手順書」

※4：電力の排出係数：電気事業者・メニュー別調整後排出係数を使用

以上